

大阪鳥取県人会報

発行：大阪鳥取県人会
発行責任者：安田 壽昭
編集責任者：窪田 邦倫
印刷：(株)新風書房

〈題字〉故 高野泰明前名誉会長 第111号 令和7年6月20日

◆事務局連絡先 「行政書士法人いろは」行政書士 西谷友香里
TEL 070-1846-1010 E-mail: osakatottorikenjinkai@gmail.com

大阪鳥取県人会



久々に総会・懇親会で集う

「大阪鳥取県人会」では、令和7年5月10日（土）大阪駅前第3ビル22階の「鳥取県関西本部交流室」で、13時から「役員・幹事会」、続いて13時45分から「総会」が開催されました。

冒頭、安田会長が開会を宣し、事務局担当の西谷総括幹事の司会で、物故会員に黙禱を捧げた後、来賓を代表して鳥取県関西本部の森本本部長から祝辞と大阪・関西万博の鳥取県ゾーンの紹介がありました。

議事に入り、1～5号議案すべてが賛成多数で可決された後、安田会長から新役員・幹事が紹介されました。「役員幹事体制」の詳細は次の通りです。

- ・福山相談役、川島相談役が退任する。
- ・上口副会長の広報担当総括幹事の兼務を解き、広報担当幹事を兼務する。
- ・窪田広報担当幹事が、広報担当総括幹事に就任する。
- ・加藤大志氏が広報担当幹事に就任する。
- ・河本純氏が、会計担当総括担当幹事に就任する。
- ・石田憲雄会計担当総括幹事が、会計担当幹事に就任する。
- ・有藤健斗氏が、事務局担当幹事に就任する。

お初天神で懇親会を開催

総会の閉会后、近隣の「お初天神」商店街に移動して、和牛と海鮮の「ぼん蔵・梅田本店」で懇親会を開催しました。

14時30分、上口副会長の開会挨拶の後、鳥取県関西本部伊井野副本部長の新任挨拶と乾杯の音頭で開宴、飲み放題でなべ料理を賞味しながら、久々の再会を楽しむ交流の輪が広がりました。16時30分、米澤顧問の中締めで、8月開催の「鳥取県ファンの集い」での再会を期して解散しました。



懇親風景

役 員（敬称略）	
役 職	氏 名（出身地）
会 長	安田 壽昭 倉吉市
副 会 長	本田 元子 米子市 上口 敦弘 鳥取市 大江 昭夫 西伯郡
幹 事 長	安田 壽昭 倉吉市(兼)
監 事	坂根 清明 倉吉市
参 与	森本 誠人 西伯郡(鳥取県関西本部長) 澤 志郎 岩美郡(県政顧問)
顧 問	三原 健太郎 西伯郡 米澤 道隆 鳥取市 遠谷 茂 西伯郡 南部 真知子 鳥取市 高塚 徹 米子市

幹 事（敬称略）		
担当部門	総括幹事	幹 事
広 報	窪田 邦倫 鳥取市	上口 敦弘 鳥取市(兼) 本田 元子 米子市(兼) 米田 満夫 鳥取市(兼) 東 巧 米子市 浅野 信之 富山県 加藤 大志 岩美町
催 事	河上 勲 日野郡	米澤 澄江 鳥取市(兼) 植田 真一 米子市 吉田 美和子 東伯郡 東 巧 米子市(兼)
鳥 取 学 出前講座	井関 宏介 鳥取市	本田 元子 米子市(兼) 田中 伸彦 鳥取市 濱田 康男 米子市
組 織	大江 昭夫 西伯郡(兼)	米田 満夫 鳥取市(兼) 河上 勲 日野郡(兼) 窪田 邦倫 鳥取市(兼) 岡田 信吾 東伯郡 松田 賢一 倉吉市 清水 信正 東伯郡
会 計	河本 純 倉吉市	石田 憲雄 東伯郡 米澤 澄江 鳥取市
事 務 局	西谷 友香里 倉吉市	有藤 健斗 米子市

(注) 新任者はアンダーライン表示

令和7年度 事業計画 (要約)

1. 令和7年度の基本方針

(1) 各種イベント開催の再強化

- ・ コロナ禍で減少した会員の繋がりを復活する各種イベントの再開
- ・ 交流会及び高校の同窓会の支援を積極的に行う

(2) 会員の減少に歯止めをかけ、会員の増強を図る

- ・ 学校同窓会組織、職域を中心とした若手会員の勧誘強化
- ・ 役員・幹事ならびに会員の紹介による新入会員の勧誘強化
- ・ 当会ホームページを活用した新入会員の勧誘

(3) 年会費・賛助会費について

- ・ 会員の年会費納入率のアップ
- ・ 賛助会費の口数増加へのPR強化

2. 令和7年度事業計画 (案)

(1) 大阪鳥取県人会総会について

- ・ 鳥取県ファンの集いと同日開催を変更し、5月に開催する

(2) 鳥取県ファンの集いの開催について

- ・ 8月30日(土)に新大阪のニューオーサカホテルで開催

(3) 鳥取学出前講座の開催 (第42・43期)

- ・ 原則として毎月第3木曜日14時～16時に開催
- ・ 受講料: 6回通しで5千円(鳥取県人会会員は3千円)
- ・ 1回のみの受講は1千円(事前に担当幹事に要問い合わせ)
- ・ 42期(4月～9月)・43期(10月～3月)の詳細は会報を参照

(4) 会報の発行 (3回)

- ・ 令和7年6月・令和7年10月・令和8年2月発行予定

(5) 郷土訪問日帰りバスツアーの開催

- ・ 大阪・関西万博終了後に開催。鳥取県立美術館に行く予定

(6) 「鳥取ゆかりの店」食べ歩き会の開催

- ・ 年2回開催予定(会報に案内告知をする)

(7) ゴルフコンペについて

- ・ 6月24日(火)に宝塚高原ゴルフクラブにて開催予定

(8) 新年互礼会の開催

- ・ 令和8年1月に開催する(年賀状にて案内)

(9) ホームページの活用強化

- ・ 迅速で幅広い情報を提供していく

(10) 高校ラグビー花園大会

- ・ 12月に大阪・花園ラグビー場で開催の大会に出場する鳥取県代表校を支援

(11) 奈良鳥取県人会との統合プロジェクト

- ・ 奈良鳥取県人会の総会決議を待って統合する(令和7年7月頃に統合予定)



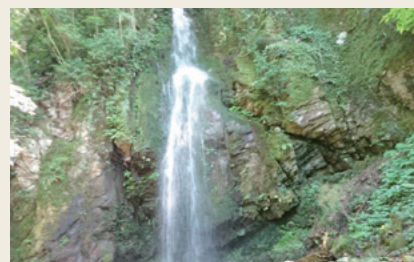
幻の滝・若桜町



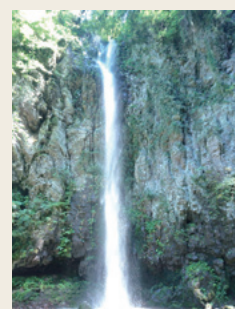
大山滝・琴浦町



雨滝・鳥取市



不動滝・湯梨浜町



今滝・湯梨浜町

鳥取県ファンの集い in 関西 ご案内

ふる里の話をみんなと一緒に語ろう♪

日 時 令和7年8月30日(土) 12:00～

場 所 ニューオーサカホテル 3F 淀の間
 ・ 御堂筋線「新大阪駅」7番出口より徒歩30秒
 ・ JR「新大阪駅」1F正面出口より徒歩1分

会 費 お一人様1万円(当日集金)

申 込 同封のハガキで7月9日(水)までに

前回の懇親風景



◆「伯桜鵬」勝ち越し 倉吉市出身の伯桜鵬(21歳・伊勢ヶ浜部屋)は、初場所では、8場所ぶりに十両から東前頭15枚目に復帰して10勝5敗、大阪場所では9勝6敗と勝ち越し、5月場所でも東前頭7枚目で8勝7敗と三場所勝ち越して、三役挑戦が期待されます。

魅力溢れる内容！

鳥取学 出前講座

多数のご参加を！

「鳥取学出前講座」今後の予定

月 日	テ ー マ	講 師
7月17日(木)	幻の「夜見ヶ浜人」を追跡して	伯耆文化研究会 会長 根平雄一郎 氏
8月21日(木)	発明王田熊常吉の歩みと そのDNAを受け継ぐ株式会社タクマ	株式会社タクマ 取締役常務執行役員 コーポレート・サービス本部長 大石 裕 氏
9月18日(木)	三朝町の発展に貢献したいフランス人の経験話	三朝温泉観光協会 事務局長 リエヴェン・アントニー 氏

2月 鳥取県内でのアユやイワガキ等の資源回復に向けた取り組み 福本一彦 氏



県では減少する水産資源への対策が進められている。アユは釣り人を誘致する観光資源でもあるが、川への遡上が悪化したため産卵場の改良や親魚の放流、アユを捕食するカワウの抑制により2022年以降回復基調にある。またサケは、県内の川から海に出て米国付近まで回遊し4年後に帰ってくる魚だが、その数が激減している。原因はよくわかっていないが、地元の学校等に参加してもらい飼育放流などを行っている。イワガキはブランド化して大都市圏での販売拡大を図ってきたが、2000年をピークに漁獲量が減少し、増殖場の整備やカキを食べる貝の除去などの対策を進めている。いずれも自然相手の息の長い取り組みである。(鳥取県栽培漁業センター 主任研究員)

3月 「淀屋盛衰記」そして 倉吉淀屋 大江昭夫 氏



大阪市内の淀屋橋にその名を残す淀屋常安は、1560年に京都・山城国に生まれた。淀川文禄堤の工事などで秀吉に認められ、大阪に出て淀屋を名乗った。大坂の陣の後中之島を開拓、大名の蔵屋敷に各地の年貢米や特産物が集められ、天下の台所として発展する基礎を作った。以後、代々商いを伸ばし数多くの社会貢献も行ったが、その力を幕府に疎まれ1705年、五代目の時些細な罪を理由に追放關所(財産没収)の処分を受けて家が絶える。しかし、その前1688年に暖簾分けを受けた番頭牧田仁右衛門が倉吉で淀屋を開店しており、その子孫が1763年に大阪淀屋を復活させる。両淀屋はその後も続くが、幕末の1859年突如として同時に閉店、その理由は今も謎だそうである。大阪と倉吉を結び意外でロマンに満ちた話だった。(淀屋研究会会長)

4月 変化はチャンスだ！ 福井恒美 氏



「バブル期の大失敗から現在に至るまでのプロセス」を数字でお話頂いた。◆67=67年前(昭和33年)倉吉市に生まれる。東京で進学、倉吉にUターンして稼業(造園業)を引き継ぐ。◆29=29年前、自社の大倒産ですべてを失い、東京へ。訪問営業でトップセールスに同行、指導を受けて以来、自身がトップセールスを続けて稼ぎまくり。◆19=19年前(50歳前)に2回目のUターン ◆15=15年前からの活動は「リアルマック」代表として、移住者支援の「JUカフェ」を主催、また「倉吉カーマルシェ」(地元野菜を自転車に詰んでの移動販売)を始めた。◆7=7年前倉吉市初代名誉市民である磯野長蔵氏(キリンビール創始者)の地元愛を伝えたいと「倉吉ビール(株)」を設立、「白壁土蔵群」にクラフトビールの醸造所とレストランを併設した施設を完成させた。◆5=今年でオープン5周年、常に「何の為に、誰の為に」生きるのかを思い起こし、「失敗を恐れない」ことを皆と共有しながら、地域の発展に尽くしたい。◆話の節々に元気を頂いた講座だった。(倉吉ビール株式会社 代表取締役)

第41・42期の紙上紹介



浦富海岸

鳥取銀行 大阪支店 大阪市中央区北浜 1-8-16 (大阪証券取引所 2F)
TEL 06-6231-0161

冬の味覚「松葉がに」を食べ尽くす。

山脈の冬の味覚の王様「ずいかに」をフルコースで堪能いただけます。大盛りを堪能するタイプの付いたゆで松葉がにを2杯付をまじり、かにずしを贈る。松葉がにをさらに美味しくいただくために、おにぎりのあられや料理をこのプランにご堪能いただくことができます。

皆様のお越しをお待ちいたしております。

ご予約・お問い合わせは 山紫苑

山紫苑 06-6231-0161

山紫苑 06-6231-0161

山紫苑 06-6231-0161

◆「県立美術館」オープン 鳥取県立美術館が3月30日グランドオープン、旧美術館計画の凍結・白紙から四半世紀を経て、県のど真ん中に県民待望の美術館が誕生しました。県中部の文化・芸術拠点として年間20万人の入館者数を目標に掲げています。

関西倉吉中部会

今年の花見会は待望の倉吉で

倉吉中部会の花見会は4月4、5日、倉吉市に開館した「県立美術館」の鑑賞会を兼ねて開催しました。参加者は各自が倉吉に集合、広田一恭市長を表敬訪問し、倉吉市で用意して頂いたマイクロバスで「県立美術館」へ、およそ3億円で購入したことで話題となった「ブリコの箱」をはじめ、鳥取や世界の多彩な美術品を鑑賞しました。

「打吹公園」に着いて散策、「飛龍閣の竹傘のライトアップ



関西地区

同窓会

プ」を見て回りました。懐かしい桜並木は、ぼんぼりに映えていましたが、桜は老木が増えていました。夕刻は上井のホテルで「花見会の宴会」を開催して一泊しました。

5日は「氷ノ山」で、少し早い五分咲きの桜を見て関金へ移動、「倉吉線廃線跡」を2km歩きました。線路わきには竹藪が見事に映えて素晴らしい散策でした。

「遊命館」で温泉に浸かって郷土料理を頂いた後、「白壁土蔵群」に案内されて、改めて倉吉にはまだまだたくさん見る所があるのだと感じながら上灘へ移動、「会下谷川」沿いの約100mの桜並木に感動して「幸せの森」へ、100本の枝垂れ桜が八分咲きの素晴らしい眺めのなかで、桜シャワーを浴びて今回の旅は終了しました。

2日間ご案内頂きました藤井所長、マيس協会の塩川マネージャー、有難うございました。又、関係者の皆様にはお世話になりました。お土産まで頂き感謝・感謝です。

(代表幹事 安田壽昭 記)

姫路鳥取県人会

姫路城三の丸広場で大花見会

3月30日(日) 冷たい風の吹く天気の中、午前8時、「姫路城三の丸広場」にシートを広げ、準備開始。11時前に清元市長・戸井田兵庫県議など来賓も、会員の出席者26名もそろい、福井幹事(司会者)が開会宣言をして花見会がスタートしました。

「来賓挨拶」で、清元市長は姫路市と姉妹都市である鳥取市との歴史的繋がりを、鳥取県関西本部の谷川係長は赴任3年にして初めての参加、鳥取市からは毎年出席いただいておりますが、鳥取市文化交流課の中村課長からは姉妹都市特典の市施設(砂の美術館など)の夏期無料入場などを紹介されました。

記念写真撮影の後、足立名誉会長の音頭で「乾杯」。足立さんは前段で、清元市長は県人会規約で姫路鳥取県人会会員の資格該当者であることを説明し、市長の「名誉顧問」就任を要請。清元市長に快諾をいただきました(全員拍手)。

会食・宴会が始まり、「出席者の近況報告」。皆なかなかの話上手で、笑いもあり、和気藹々の雰囲気でした。

今回のアトラクションは「じゃんけん大会」。全員で塚

田と勝負して、勝った人でじゃんけんして順位を決定。会員が持ち寄った賞品から好きな物を順に選びました。

午後1時、宴たけなわの中、橋崎さん(幹事・日ノ本学園長)の音頭で「中締め」。「みんな元気であること」「声を掛け合うこと」そして「集まり続けること」を共有して実行していくことを誓い、「一本締め」で14時に閉会しました。皆で会場の後片付けを行い、2次会会場へ行く人、帰る人、それぞれに楽しんだ大花見会でした。

(会長 塚田哲也 記)



医療法人社団
秀明会

院長 遠谷 茂
(大山町出身)

遠谷眼科

日本眼科学会認定 眼科専門医
京都大学医学部卒業 医学博士
<http://www.entani.com>

白内障・緑内障・糖尿病網膜症、近視・遠視・乱視矯正

- ・水晶体眼内レンズ手術(自由診療)片眼 30~35万円
- ・屈折矯正手術(自由診療)両眼 25万円
- ・オルソケラトロジー(自由診療)両眼 14万円

●白内障手術の実績

白内障手術 45,847件 (1987年~2024年)

●過去1年の主な手術実績 (2023年~2024年)

白内障手術 1,000件 緑内障手術 95件
硝子体手術 27件

代表電話: 06-6428-1515

住所: 〒661-0002 兵庫県尼崎市塚口町 1-10-31

アクセス: JR大阪・阪急梅田駅より阪急電車で神戸三宮方面へ約10分、
阪急神戸線 塚口駅下車 北西徒歩3分

◆ローイング岡本(鳥取城北) V ローイングの全国高校選抜大会最終日は3月23日、浜松市天竜ポート場で行われ、鳥取県勢は男子シングルスカルの岡本成世(鳥取城北)が優勝。昨年の全国高校総体・国民スポーツ大会に続き三つ目のタイトルを獲得しました。

町人会

だより

関西米城会

総会でエネルギーを補充！

2月15日（土）、リーベルホテル大阪に88名が集まり令和7年総会を開催しました。

県関西本部より森本誠人本部長、米子市より伊澤勇人副市長と宮本和政関西事務所長、田辺洋範米子東高校長、松村順史同窓会長、各地域米城会役員の方々を来賓としてお迎えし、定例議事に続いて今回進行役で同期の公益財団法人とっとりコンベンションビューローの石村隆男理事長から、『「やくも」から始まる“地域の成り立ちを探る時空旅”』と題した講演がありました。数万年におよぶ山陰の地形変動や神話・古事記、たたら、弓浜半島の誕生、等々…改めて神代から語り継がれてきた故郷の生い立ちに思いを馳せました。

懇親会では恒例の吹奏楽部OBによる生演奏が健在。応



選抜高校野球に「米子松蔭」が出場

秋の高校野球鳥取県大会を制した「米子松蔭」は、中国大会で「広島商業」に次いで準優勝を果たし、選考会で33年ぶり2回目のセンバツ出場が決まりました。

3月15日17時から宿舎の「宝塚ワシントンホテル」で同校野球部の「激励会」が開催され、鳥取県関西本部（森本本部長・谷川係長）と神戸鳥取県人会（神崎会長・上口副会長・門脇幹事長）から祝辞と記念品の贈呈があり、惣郷峻吏（そうごうしゅんり）主将が「自分たちの気持ちを込めて戦い、応援頂く皆様に感謝を伝えたい。」と決意を述べました。

センバツ高校野球は18日に開幕し、第1日目第2試合に登場した「米子松蔭」は、大谷翔平選手の母校「花巻東」と対戦。1回に「花巻東」に3点を先制されましたが、3回久石拓人選手がツーベースヒット、惣郷峻吏選手のタイムリーヒットで、1点を返しました。その後は3回に3点、4回に2点を奪われるなどリードを広げられましたが、9回代打の杉本權選手がツーベースヒットで出塁、同じく代打の矢田貝煌大選手のタイムリーヒットで1点を返したものの反撃は続かず、「米子松蔭」は2対10で敗れ、初戦突破はありませんでした。

援部OBの大学生が今回加わったこともあり、一段と元気をもらって校歌／応援歌の大合唱で盛り上がりました。

（幹事長 東 巧 記）

関西鳥取若桜会

「第7回ふるさと訪問の旅」実施

3月29日（土）～30日（日）、関西圏在住の若桜町出身者により設立された「関西鳥取若桜会」のふるさと訪問の旅が実施されました。ふるさと訪問の旅では、若桜町に里帰りし、桜の植樹や町内施設の見学等を行っており、今回は、中之島公園での桜の植樹をはじめ、寄来屋でのウイナーづくり体験や龍徳寺のお庭見学などを行いました。昼食懇親会では思い出話に花が咲き、昔を懐かしみ笑顔が溢れる方もおられるなど、ふるさとの良さを

改めて感じられていたようでした。

（若桜町役場企画制作課 武田 住菜絵 記）



鳥取県若桜町
太田酒造場

辨天娘
べんてんむすめ



すべて若桜町の
米と水で造って
います。

ふるさと納税
若桜町返礼品

【取扱店舗(大阪)】上畑商店(阪急淡路)・山中酒の店(大國町、駅マルシェ大阪)・末田商店(箕面)・深井中野酒店(堺)・酒ボックスさかした(此花区)・大野食材店(天満橋)・高島屋大阪店(難波)・井上酒店(福島)

印刷全般・アニメグッズの企画製造



菊田印刷株式会社

<https://www.kikuta-print.co.jp/>

【本社】〒561-0845 大阪府豊中市市利倉3-10-34
TEL(06)6866-0003
【鳥取工場】〒680-0942 鳥取県鳥取市湖山町東3-100
TEL(0857)30-8813



おねがい 鳥取県下各高校の関西地区同窓会や地域の交流会、仲間の集まりなどの情報をお寄せください。

◆記入事項：会合名・開催日時と場所・参加者・会合内容や話題・寄稿者名 ◆原稿400字程度・記念の写真添付

今回もご寄稿有難うございました。

皆様のコメントから「元気」と「安らぎ」を頂きました。

今後も、未投稿の方は是非一度、既投稿の方も二度・三度のご寄稿をお待ちしています。

※各頂の投稿者名の後の（ ）内は、出身市町村です。

みんな

◇ 私とふるさと（思い出など） ◇

◆ふるさと紹介（昭和46年記）



東郷湖

弁当忘れても傘忘れるな！

山陰路の雨の多いことをよく物語っていますが、それだけに雨が上がった時の明るさが、まぶしいほどに感じられます。山陰本線松崎駅で下車、駅前をまっすぐ行くと、湖のほとりに出ます。そこが東郷湖（昔は東郷池）で、この湖をめぐる二つの温泉があります。

波止場の辺りが東郷温泉、もう一つは湖を経て北岸に海底から沸くいで湯の町、湖上温泉をキャッチフレーズに

最近売り出したわが故郷・浅津温泉（現：ハワイ温泉）です。

ここへは波止場から定期船（東郷丸）に乗って10分で渡れます。浅津の町名は羽合（ハワイ）町なので、これをもじって「ハワイ航路」としゃれて言う人もいます。湖のほぼ真ん中から沸くいで湯は温度70度以上、湯量が実に豊富で、直径25cmのパイプで全家庭に送られ、皆が自家製温泉を持っているのもこの町の特徴の一つです。湖水の周辺には古くから温泉旅館があり、湯治客が絶えませんでした。最近は観光ブームで立派なホテルも経営されるようになりました。

歴史的には天正の頃、吉川元春がここに陣を張って、豊臣秀吉に対抗した古戦場があり、岸に近い岬にある小学校は松崎城址にあるといわれています。

東郷湖は周囲22km、鶴の羽ばたいている姿に似ているため、別名「鶴の池」とも呼ばれています。

少年時代は、この湖で父・兄・友人と一緒に投網で魚を捕ったり、しじみ貝を撮ったり、泳ぎました。東郷湖は、私たちの大きなたんばく源であり、忘れられない思い出の場でもあります。

西側には大山（1,709m）がひとときわ高くその美しい姿を見せているなど、湖岸からの眺めもまた最高です。

清水 信正さん（湯梨浜町・旧羽合町）



因幡の傘踊り



因幡の麒麟獅子

（株）北岡本店 鳥取工場

飲んで飲む果実入りリキュール

ほろりみずみ

税金・社会保険・助成金・就業規則など
ご相談下さい。

石田憲雄税理士・
社会保険労務士事務所

石田 憲雄（琴浦町出身）

〒570-0028 守口市本町2-3-21-705
TEL:090-1157-2631 FAX:06-7632-2921

千代むすび

鳥取から世界にはばたく
進化する老舗

令和6年 全国新酒鑑評会 金賞受賞！

千代むすび酒造株式会社

〒684-0004 鳥取県境港市大正町131 TEL(0859)42-3191 FAX(0859)42-3515
https://chiyomusubi.co.jp Email:oroshibu@sea.chukau.ne.jp

◆鳥取の夏祭り ①大山夏山開き祭（大山町） ②みなと祭（境港市） ③水郷祭（湯梨浜町） ④キュリー祭（三朝町） ⑤貝がら節祭（鳥取市） ⑥江尾十七夜（江府町） ⑦米子がいな祭（米子市） ⑧波止のまつり（琴浦町） ⑨倉吉打吹まつり（倉吉市）

の広場

紙面での交流にご参加ください。テーマは自由（近況や思い出など）です。

「応募はがき」を同封しています。（切手を貼ってお送りください）少し長い文になるときは、封書やメールでの投稿も歓迎します。宛先・メールアドレスは、8面欄外の「連絡先」を参照ください。

◇ 私と関西(近況など) ◇

◆伊勢神宮へ

今年も大阪天満から玉造稻荷神社、暗峠などを通して、伊勢神宮迄どうにか歩きました。

この歳（77歳）になると、たぶん最後になるかと思っています。

昨年氷ノ山登山を若桜から上りましたが、途中に「伊勢道」の道標があり、驚きました。

もっと早く知っていたら、一度くらい因幡・伯耆から伊勢まで」歩いていたかも！

又そのような文献もあれば拝見したいものです。



伊勢神宮

入江 淳さん（琴浦町）

大阪鳥取県人会

郷里訪問バスツアーを実施

令和6年9月28日（土）14名が参加して、「郷里訪問バスツアー」を実施。予定通り8時15分に、定員20人の中型バスに乗り、新大阪駅を出発。「安富PA」でトイレ休憩をとり、最初の見学場所「石谷家住宅」（智頭町）に到着しました。

石谷家は山林経営を生業とされていて豊富な資材、デザイン、施工技術ともに完成度の高い施設でした。



石谷家住宅にて

鹿野町に移動して温泉施設「ホットピア鹿野」・鹿野そば道場で昼食（2H）を取り温泉入浴。そば打ち体験などをして各人がゆっくりと過ごしました。

帰路の道の駅「はっとうフルーツの里」（八頭町）では、お土産を両手いっぱい購入しました。

最後の観光地、若桜駅（若桜町）では蒸気機関車（C12）を見学しました。

若桜駅では各自入場券を購入して線路内にも入ることが出来て、何十年振りかで少年、少女時代に帰り、蒸気機関車を懐かしく見ながら写真を撮りました。

夕方5時、若桜町を出発。国道29号線を経由して山崎インターチェンジから高速道路に入り、予定通り新大阪駅に到着しました。お疲れ様でした。

（催事担当総括幹事 河上 勲 記）



麒麟のまち

鳥取東部エリア・兵庫北部エリア
アンテナショップ

鳥取出身料理長の味覚と、愛あふれる特産品で
因幡・但馬を体感！

〒530-0005大阪市北区中島2-3-18
中之島フェスティバルタワー B1F
TEL 06-4708-3118

<https://www.instagram.com/kirinnomachi/>
営業時間11:00~22:00 (LO21:00) /
土日祝11:00~21:00 (LO20:00)



■「鳥取県観光PRイベント」を開催

旬を迎えた特産品の試食販売をはじめ鳥取県内の観光地や物産・特産品等をPRします。

開催日 6月21日(土)
10時～17時(予定)

場所 ららぽーと門真(門真市松生町)
内容 すいかの試食販売や特産品等のPR販売のほか、各種イベントを予定。大阪・関西万博出展PRと併せて鳥取県の観光名所等「とっとりリアル・パビリオン」を紹介

■「山陰特集」を開催

開催日 6月21日(土)～22日(日)

場所 関西圏の光洋約60店舗
(大阪市ほか)

内容 すいかやマグロ、シロイカなど、旬の農水産物、乳製品やお菓子などのPR販売を予定

■「食パラダイス鳥取県フェア」を開催

開催日 6月24日(火)～27日(金)

場所 モリタ屋全6店舗(高槻市ほか)

内容 すいかや旬の農産物、乳製品やお菓子、地酒などのPR販売を予定

■「食パラダイス鳥取県フェア」を開催

開催日 6月25日(水)～7月1日(火)

場所 高島屋大阪店(大阪市中央区)
高島屋泉北店(堺市)

内容 すいか、らっきょう、マグロ、鳥取牛などのPR販売を予定

■「鳥取県チャレンジコーナー」
モニター商品販売会を開催

開催日 8月2日(土)

場所 いしはら商店(神戸市)

内容 鳥取県産品のPR販売を予定

■2025大阪・関西万博に鳥取県も出展中!

大阪・関西万博(会期:10月13日まで)
会場では、今後も鳥取県関連イベントが目白押し!

◇関西パビリオンに「鳥取県ゾーン」を出展

関西パビリオン内にある鳥取県ゾーン

関西本部だより

では「まんが王国とっとり」の3巨匠のキャラクターがお出迎え。本物の鳥取砂丘の砂を持ち込んだ「鳥取無限砂丘」で、虫眼鏡型デバイスを使った鳥取県の魅力探索やプロジェクションマッピングで幻想的な鳥取県が体感できます。体験者の方には鳥取県内で使える特典等をプレゼント!

※関西パビリオンの入館には予約が必要です。

◇「今日は一日鳥取県～まんが王国と通りの魅力～」を開催

EXPOホール「シャインハット」で、「まんが王国とっとり」にゆかりのある歌手や声優をゲストに迎え、盛大なステージイベントを開催します。

開催日 7月1日(火)

内容 倉木麻衣さんスペシャルライブ、出演声優による朗読劇、郷土芸能披露等

※観覧には予約が必要です。第二次予約(7日前抽選)は6月1日から6月23日まで。

◇「とっとりフェス」を開催

関西パビリオン隣接の多目的エリアで県の魅力をテーマごとに紹介するイベントを開催します。

開催日 7月16日(火)～21日(日)、
8月20日(水)～25日(月)

内容 産業、障がい者アート、物産、民芸、県産材の展示、市町村PRコーナー(予定)

■総勢1000名様に鳥取県産品が当たる!
「絶対!とっとりキャンペーン」実施中

とっとりスタンプラリー、とっとり宿泊チャンス、とっとりSNSチャレンジの3本立て!

大阪・関西万博会場(関西パビリオン内鳥取県ゾーン)や鳥取砂丘、県立美術館等の鳥取県内各市町村の観光スポットを回遊してスマホでスタンプを集めたり、期間中鳥取県内の対象宿泊施設への

宿泊や鳥取県内旅行の様子などをSNS(Instagram、X)に「#絶対とっとり」を付けて投稿すると、対象者に抽選で鳥取県産品をプレゼント。



期間 10月13日(月)まで

※宿泊チャンスは8月31日(日)まで

■高速道路利用でお得に鳥取県を大周遊!
「とっとり満喫ドライブパス」

関西からの鳥取の旅が高速道路乗り放題でおトクです。2日間の高速料金が約50%オフに!

7/16～大山周辺14施設で利用できる2千円分のクーポン券を配付予定!

鳥取県へお出かけの際、ぜひご利用ください。

期間 3月31日(火)まで

※設定除外日あり



■「名探偵コナン鳥取ミステリーツアー」を開催!

鳥取の観光地を巡り手がかりを集めて、オリジナルストーリーの謎解きを楽しんでください。

期間 7月1日(火)～

1月23日(金)

※設定除外日あり



会員動向

現在の会員数266名
(うち夫婦会員29組)

○新入会員(敬称略)

- ①福山 耕治(大阪府)
- ②長谷川清司(米子市)
- ③水谷 綾子(倉吉市)
- ④倉地美沙子(岡山県)
- ⑤二宮 佳子(大阪府)

○退会(敬称略)

藤原 康江、西尾 康弘、南口 和秋、井上 剛、井上 日出子、森田 征子、飛山 明美

編集
後記

会報に「みんなの広場」、「同窓会・町人会だより」、「関西本部だより」があり、読んでみると懐かしさとともに故郷への想いが募ります。「夢は今もめぐりて、忘れがたき故郷」。会報は紙面を通じて皆様が“交流”する場でもあります。絆を深めるため、皆様の投稿をお待ちしています。



とっとりで暮らそう。

(公財) ふるさと鳥取県定住機構

